

令和5年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(前期日程)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

問題 次の文章は、主要農作物種子法の廃止とその反対運動について書かれたものである。この文章を読んで後の設問に答えなさい。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

(出典：田村典江「種子を共的世界に取り戻すことは可能かーコモン化 (commoning) の視点から」西川芳昭編著『タネとヒトー生物文化多様性の視点から』pp.227-245. 農山漁村文化協会. 2022年刊. なお、出題にあたり文章の主旨を変えないかたちで、小見出し、本文の一部ならびに脚注を省略した。また、一部の用語についてルビと注を付記した。)

問1) 課題文の内容から、政府と「日本の種子を守る会」双方の主要農作物種子法廃止についての主張を300字以内に要約して述べなさい。

問2) 米に限らずあなたが普段食べている食材・農作物は、課題文にあるようにグローバル化やそれに対応する国内制度と関連しており、また、その他の様々な問題の影響を受けています。あなたの知っている食材・農作物を一つ挙げ、その食べ物がどのような社会的課題(高齢化や戦争など)、環境的課題(環境破壊や持続可能性など)または地域的課題(人口流出や耕作放棄地の増加など)と関係しているかを説明したうえで、その課題をどのように解決していくべきか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。